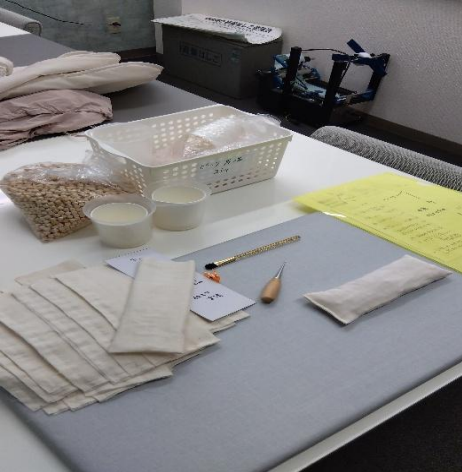


就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	就労継続支援事業所多機能型Bild口	事業所番号	2317900567
住 所	愛知県尾張旭市三丁目1番地1口	管理者名	元田 裕人
電話番号	0561-52-0550	対象年度	令和 6 年度

地域連携活動の概要	
<活動内容> 活動場所 就労継続支援事業所多機能型Bild 実施日程 令和6年11月～令和7年3月 実施した生産活動・施設外就労の概要 ・尾張旭市の株式会社ease担当者様より共同商品開発ご依頼 ・アロマオイルを活用したアイピローの開発・試作品製造 ・地域企業との連携による商品価値向上 利用者数 等 1～5名/日	<活動の様子> 活動の様子の写真 ・工業マシンで裁縫しているところ ・試作の備品類  成果物の写真 ・アイピローの外袋 ・アイピロー（内容物はヒノキキューブとピンク岩塩）  活動内容の追加コメント ・アイピローの製作にあたっては、工業マシンを使用した。 ・ミシンを初めて使用した利用者も多く、作業に慣れるのに時間がかかった。 ・改良・話し合いを重ねた結果、内容物はヒノキキューブとピンク岩塩を使用。ヒノキキューブはアロマの香りづけ用。ピンク岩塩は塩が熱を吸収し、目元にとってひんやりすっきりした心地よい効果がある。内容物の割合が試行錯誤を繰り返した。
<目的> 地域連携活動のねらい ・地域企業との協力による新たな商品開発を推進 ・地域社会への貢献 地域にとってのメリット ・アロマオイルを活用したアイピローの開発・試作 ・障がい者雇用の促進を通じた地域福祉の向上 対象者にとってのメリット ・商品開発を通じた実践的な職業訓練の機会提供 ・新たなスキル習得による自立支援の強化	
<成果> 実施した結果 ・試作を重ね、アロマオイルを使用したアイピローを開発 ・利用者が一連の作業（縫製、アロマブレンド、パッケージング等）を習得 ・株式会社easeとの協議により、販売に向けた検討を進行中 得られた結果 ・利用者の作業スキル向上と自身の獲得 ・地域企業とのネットワーク強化 課題点 ・初期段階の再選体制の確立に時間を要した。 ・販売ルート of のさらなる開拓が必要。 ・利用者の技術習得度に個人差があり、フォローアップが求められる。	

連携先の企業等の意見または評価			
連携した結果に対する意見または評価 ・就労継続支援事業所多機能型Bildとの連携により、障がい者の作業クオリティの高さが実感できました。特に手作業による製造工程の丁寧さは、アイピローの品質に大きく貢献すると評価しています。 ・まだ試作段階ではありますが、今後は市場のニーズを踏まえた改良を行い、より完成度の高い商品に仕上げていく方針です。 ・ease社内でも販売戦略や販路拡大について検討を進める予定であり、利用者のスキル向上と地域での障がい者雇用促進に貢献できるよう、連携を深めていきたいと考えています。 今後の連携強化に向けた課題 ・生産量の安定化に向けたスケジュール管理の強化 ・PR活動の強化による販路の確立			
連携先企業名	株式会社 e a s e	担当者名	篠田 様